

25. ^{67}Ga citrate および malate の肝腫瘍陽性率について

高橋貞一郎 久保田昌宏
湯川 元資 大久保 整
(札幌大・放)

肝に scintigraphy 上 SOL を示した proven case 20 例につき ^{67}Ga citrate 及び malate の陽性率と検索した。原発性肝癌 2/2 胆道癌 0/2 転移性肝癌 11/11 良性腫瘍 0/4 肝膿瘍 1/1 の陽性率を得た。この結果従来 Ga 陽性率が低と云われていた消化器癌が肝転移した場合には高い陽性率を示すことは注目された。また胆道癌は陽性率が低いことも知られた。

26. 肝シンチグラムによる肝切除限界の検討

松下 通明 柿田 章
葛西 洋一
(北大・外)
森田 穰 小倉 浩夫
古舘 正従 入江 五朗
(同・放)

限局性肝疾患の診断に、肝シンチグラムが有効であることは論をまたないが、外科切除の見地から肝シンチグラムの有効性を検索したがいまだ報告は少ない。

われわれは、限局性肝疾患を有し手術にて確認し得た32例について、肝切除可否、すなわち、病変の広がり診断し得るか否かの観点から肝シンチグラムを再検討した。

肝内脈管構築に基づいた肝4区域分類法の概念に基づき、肝シンチグラム平面上に4区域を設定し、肝シンチグラム所見と開腹時所見とを対比し病変の広がりについて検討した。

われわれの肝シンチグラム平面上に設定した4区域が妥当であるとすれば、区域別診断率は、右内側区が良く80.7%であった。切除可否の点では、全体的にみると、肝シンチグラムの術前診断率は、53.5%であった。

さらにわれわれが設定した肝シンチグラム上の肝区域からみた肝切除可否の術前判読困難例について検討を加えた。

27. RI 心血管造影法による各種心疾患の診断

宮本 篤 安藤 譲二
小林 毅 安田 寿一
(北大・循内)
古舘 正従
(同・放)

$^{99\text{m}}\text{Tc}$ -Albumin 静注による RI 心血管造影を γ -Camera, Computer, 心拍同期装置を併用して各種心疾患に施行し、その有用性について検討した。対象は先天性心疾患 (左→右 shunt, 右→左 shunt), 僧帽弁膜症, 特発性左房瘤, 胸部大動脈瘤, 心外膜炎, 上大静脈症候群, 心筋硬塞症, 高血圧症等であった。

〔結果〕 RI 心血管造影法は造影剤を使用した心血管造影法に比べ、その解像力は劣るが各種心疾患の解剖学的形態異常を容易に識別出来、かつ ROI から得られた Dynamic Curve により各種循環時間、心拍出量、Pooling の動態等も得られ、さらに Gated Scintigram からは心筋硬塞後の Asynergy, 心室瘤や Ejection Fraction 等の心機能障害の程度も知ることができた。

本法は各種心疾患の Screening test として有用と思われた。

28. Gated scintiphotography による心疾患の診断 ——心筋壁厚測定による試み——

安藤 譲二 宮本 篤
小林 毅 安田 寿一
(北大・循内)
古舘 正従
(同・放)

^{201}Tl による心筋の陽性画像, $^{99\text{m}}\text{Tc}$ による陰性画像を、それぞれ心拍同期装置を用い、Gated